大使館訳

セイコウ・イシカワ　駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使メッセージ

ベネズエラ・ボリバル共和国独立 206 周年にあたり、ベネズエラ政府及び国民を代表して、ベネズエラ・日本間の不断の友情への新たな決意を表し、天皇皇后両陛下並びに日本国政府及び国民の皆様にご多幸、ご健康、ご繁栄を祈念できることを光栄に思います。本日の祝賀に際し、日本におけるベネズエラ人コミュニティの全ての人々に、幸せなナショナルデーを祈ります。

本年はベネズエラにとって多事な年です。暴力的な街頭行動を収束させるためニコラス・マドゥーロ大統領が促進してきた国民的政治対話に、世界の国々から団結した支援の声を頂戴したことを大変感謝しています。最近では、南米諸国連合（UNASUR）が昨年より後援する対話の取組みに加わるよう、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ニカラグア、ウルグアイ、セントビンセント及びグレナディーン諸島といった国々が要請を受けました。この取組みにはパナマのマルティン・トリホス元大統領、ドミニカ共和国のレオネル・フェルナンデス元大統領、コロンビアのエルネスト・サンペール元大統領及びスペインのロドリゲス・サパテロ元首相が参加され、フランシスコ・ローマ法王が仲介役として参加されています。

ベネズエラのごく一部地域（影響を受けたのは 335 基礎自治体のうち 31 自治体）における過激派集団の極端な蛮行・暴力にもかかわらず、大多数のベネズエラ国民は平和を愛する精神や信念を保ち続けています。独立の民間会社が最近実施した調査によると、84％が政府・野党間の政治対話に賛成し、80％が暴力的な街頭行動に反対しています[1]。ベネズエラ国民は、自らの手段及び努力で、自身の問題に平和的解決を見出すことでしょう。

一方で、ベネズエラは世界各地との関係を築き続けます。様々な多国間・地域間の討議の場でリーダーシップを発揮しており、現在は非同盟運動（NAM）の議長国を務め、昨年 9 月にはマルガリータ島（ベネズエラ）での首脳会議を成功裏に主催しました。また、今年 3 月にはカリブ諸国連合の議長国に選出されました。日本との関係も例外ではありません。今年 10 月から 2018 年にかけて、

[1] インテルラセス社。Monitor-País（国家概観）調査 2017 年 5 月 3 日－2017 年 5 月 24 日

ベネズエラと日本との友好関係80周年及び日本人による最初のベネズエラ移住90周年の祝賀を行う予定です。

今月、皇太子徳仁親王殿下による歴史的なベネズエラ訪問から25周年となります。この歴史的な時を心に留めるとともに、両国間及び両国民間の友好関係がより前進し深化するよう、私の不動の決意を表します。